

婦人科検診

この特集でお伝えすること

見て
安心！

検診の流れを写真で紹介

受付から検査終了まで、実際の流れを写真やイラストで紹介します。
「次に何をするのか」が分かれば、初めて受診するときの不安も少し小さくなるかもしれません。

聞けて
安心！

気になる疑問に解説・回答

痛みや服装、生理との重なりなど、ちょっと聞きにくい疑問も取り上げます。分からないことをそのままにせず、安心して受診するための材料にしていきます。

知って
納得！

対象者や費用、受診方法も

対象となる年齢、費用、受診場所、予約方法など、実際に受けようと思ったときに必要となる情報をまとめます。

見て、聞いて、知って。 婦人科検診を少し身近に。

町では毎年、子宮頸がん検診や乳がん検診を実施しています。婦人科検診は、女性の健康を守るための大切な検診です。

けれど、「大切だから受けてください」と言われるだけで、受診への不安がなくなるわけではありません。

そこで今回は、制度や病気の説明だけでなく、受診する人の目線から婦人科検診を見ていきます。

定期的な検診と早期発見が 女性の体を守ります

子宮頸がんや乳がんには、初期には自覚症状がほとんどないものがあります。定期的に検診を受けることで、早い段階で異常が見つければ、治療の選択肢が広がり、体への負担を抑えられることもあります。

「面倒」「怖そう」と感じる人もいるかもしれません。だからこそ、この特集では、まず知ることから。検診がどんなものなのか、一緒に見ていきましょう。

知らないから、ちょっと怖い。
なら、見てみよう

婦人科検診って、 何するの？

恥ずかしく
ない？

どんな検査を
するの？

痛いの？

受けた方が
いいの？

町の婦人科検診を
担当しています。
検診について知りたいこと、
不安に感じていることもある
と思います。実際の会場を一
緒に見てみましょう。

◆取材・撮影協力：(公財)群馬県健康づくり財団

では、実際の検診会場へ。検診車の中まで、見に行ってみましょう。

検診と診療は、少し役割が異なります

目的や内容も異なるため、結果や対応も変わってきます。

検診(検査)

病気の「早期発見」を目的に、
症状のない人を対象に行うもの。

例 子宮頸がん検診、乳がん検診、
胃がん検診、大腸がん検診

診療(医療機関の受診)

症状の「診断や治療」を目的に、
気になる症状がある人が受けるもの。

例 出血、おりものの異常、痛みが
あるとき

大切なのは「いつもと違う」に気付くこと。

検診は「気付かない変化」を見つけるための機会です。症状がないときは定期的な検診を。気になる症状があるときは、検診を待たず医療機関を受診してください。

「知らない検診」を、
「知っている検診」へ。
その一歩から始めてみませんか。

受ける・受けないを考えるのは、
そのあとでいい。
まずは、婦人科検診を知るところから。

「知らない検診」を、
「知っている検診」へ。
その一歩から始めてみませんか。

受ける・受けないを考えるのは、
そのあとでいい。
まずは、婦人科検診を知るところから。

「知らない検診」を、
「知っている検診」へ。
その一歩から始めてみませんか。

受ける・受けないを考えるのは、
そのあとでいい。
まずは、婦人科検診を知るところから。

知ることが、
自分を守る一歩になる

「受けた方がいい」。

それは何となく分かっている。
けれど、何をするのか分からない。

痛いかも。少し恥ずかしい。
そんな不安から、つい後回しにしている人も
いるのではないだろうか。

そこで今回は「受けましょう」と呼び掛ける前に、
まず婦人科検診そのものを見てみることにしました。
受付から検査が終わるまで、
実際の流れをたどります。

役場健康づくり課
(保健センター)
健康推進係
成塚保健師

婦人科検診 行ってみました！

受付から検査終了まで、実際の流れを追いました

※ここで紹介するのは、保健センターで行う「集団検診」の流れです。
子宮頸がん検診は、医療機関で受ける「個別検診」も実施しています。

STEP

1

受付

予約した時間に保健センターへ。
受診票を提示し、検診料金の確認
など受け付けの手続きをします。
気になることがあれば遠慮なく。



STEP

2

受診前問診

看護師が最近の体調などを確認します。
婦人科のことで気になることがあればこ
こでご相談を。



STEP

3

待機・案内

待合スペースで順番を待ちます。
順番になったらスタッフが
お声掛けし、
検診車(バス)へ
ご案内します。



STEP

4

検診車(バス)へ

いよいよ検診車(バス)の中へ。
スタッフの案内に沿って移動します。



子宮頸がん検診



STEP

5-A

検診前準備

間仕切りされた
更衣スペースで、ショーツを脱ぎ、
スカートまたはバスタオルなどを
着用します。



「どんな台に座るのかな？」
みたいな不安も
先に見ておけば
少し安心ですね。



STEP

6-A

検査(検査台に座る)

検査台に座ると検査が始まります。専用の器具を
使って、子宮頸部から細胞を採取します。検査中
はカーテンで仕切られているため、医療スタッフ
と視線が合うことはありません。

乳がん検診



STEP

6-B

検査(マンモグラフィ)

乳房を専用装置(マン
モグラフィ)で圧迫
し、左右それぞれ撮影
します。撮影時間は数
分程度です。



装置を見ると大きく感じますが、
技師が丁寧に案内してくれます。

STEP

5-B

検診前準備

乳がん検診は、撮影室に
入ってから上半身の衣服
を脱ぎます。



STEP

7

これで、終了

検査が終われば、この日の婦人科検診は終了です。
2つの検診を受けた場合、受付から終了までおおむね
30分が目安です。混雑状況などにより前後します。
検査結果はおおむね4週間後に郵送されます。



検診の流れは分かった。でも、`実際はどんなの?`はまだある。次のページへ。。



聞きにくいこと 聞いてみました

検診の流れは分かった。それでも、「実際にはどうなの？」と気になることはまだあります。受診する前に感じやすい疑問や不安を、一つずつ見ていきましょう。

**不安がなくなってから、
受けるわけじゃない。**

「痛いのかな」

「恥ずかしいのかな」

「どんな服で行けばいいのかな」

一つ一つは小さな疑問でも、受診する人にとっては、その一つが足を止める理由になることがあります。

検診が大切なことは分かっている。早期発見が大切なことも知っている。それでも、実際に受けるとなると少し迷う。

そんな気持ちは、決して特別なものではありません。

だから、不安が全てなくなってしまう。からでなくてもいいのだと思います。

分からないことは、見てみる。気になることは、聞いてみる。不安なことは、伝えてみる。

そうすることで、検診は少しずつ知らないものではなくなっていくます。

**「聞いていいのかな」は、
ありません。**

ここまで読んでも、まだ不安が残っている人もいるでしょう。それでも大丈夫です。大切なのは、不安があること、受けないことを同じにしないことです。

少し分かった。
少し安心した。
その先で、自分の体について考えてみる。

—— 婦人科検診は、そのための一つの機会です。

**次は、検診を行う医師の
お話を聞いてみます——**

Q：症状がなくても受けるの？

A：はい。症状がない時期に受けるのが、がん検診です。

がん検診は、症状のない人が定期的に受けることで、がんを早期に発見することを目的としています。ただし、出血、しこり、痛みなど気になる症状がある場合は、検診を待つのではなく、医療機関を受診してください。



Q：生理と重なったら？

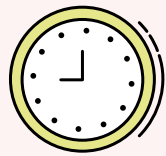
A：検査に影響することがあります。可能であれば別日の受診を。

特に子宮頸がん検診では、出血の状況によって正確な検査が難しくなる場合があります。予約日と生理が重なった場合は、可能な範囲で別日の受診をお願いします。



Q：どのくらい時間が
かかりますか？

A：検査自体は短時間。
待ち時間を含め、
時間には少し余裕を。



検査そのものに必要な時間は、それほど長くありません。

【子宮頸がん検診】…5～10分程度

【乳がん検診】………5～10分程度

ただし、受付や着替え、待ち時間などがありますので、会場の混雑状況によって全体の所要時間は変わります。

Q：やっぱり、痛いですか？

A：痛みの感じ方には個人差も。
つらいときは、スタッフに声掛けを。



子宮頸がん検診では、子宮の入口部分から細胞を採取します。緊張して体に力が入ると、痛みや違和感を感じやすくなることもあります。乳がん検診（マンモグラフィ）では、乳房を板で挟んで撮影するため、圧迫による痛みを感じる場合があります。いずれも感じ方には個人差がありますので、つらい場合はスタッフへお伝えください。



Q：恥ずかしいのが心配です。

A：プライバシーに配慮して検査します。
不安な気持ちも伝えてください。

婦人科検診では、普段人に見せない部分の検査を受けるため、「恥ずかしい」「抵抗がある」と感じる人もいます。検診車では、カーテンや更衣スペースなどを使い、プライバシーに配慮して検査を行います。恥ずかしいと思うことも自然なことです。不安な気持ちも含め、スタッフへお伝えください。

Q：何歳になっても受けた方がいい？

A：一律に「何歳まで」と
決まるものではありません。



町の対象年齢や国の指針を確認しながら、ご自身の年齢や健康状態に合わせて定期的な受診を考えていきましょう。

婦人科検診は、今年だけの話ではありません。

町では、毎年、婦人科検診を実施しています。対象となる人には、おおむね2年に1回の機会が巡ってきます。
「今年受ける人」も「次に受ける人」にも、大切な検診です。



令和8年度(2026年)も、まだ受診できます。



令和8年度の婦人科検診は、12月まで実施しています。
「気になっていたけど……」「通知は来ていたけど……」
という人も、この機会にぜひご検討ください。

12月まで
実施します

※詳細は、通知や町
ホームページでご
案内しています。



公式LINEで
予約受付中

LINEから予約できます。
〆いつでもどこでも、が便利です。



対象者

子宮頸がん検診
20歳以上の奇数年齢の人

※前年度(令和7年度)未受診の人は、偶数年齢でも受診可。
※4月1日生まれの人はこの限りでない場合があります。

乳がん検診
40歳以上の奇数年齢の人

※前年度(令和7年度)未受診の人は、偶数年齢でも受診可。
※4月1日生まれの人はこの限りでない場合があります。



無料
クーポン

対象者には無料クーポンを送付済み。令和8年度の通知と同封です。令和8年度の通知は、令和8年7月中旬に発送済みです。



通知が届いていない場合

過去2回の受診機会を逃した人や邑楽町へ転入した人は、自動送付の対象外となります。そのため、検診を希望される場合は、ご自身で町へ申し込みいただく必要があります。保健センターへご連絡ください。

問 役場健康づくり課
(保健センター)
☎88-5533

検診車の中。検査の方法。
受診するときの流れ。そして、婦人科検診に関わる人たちの思い。
8ページにわたって、婦人科検診を見てください。

「何をされるのか分からない」
そんな不安は、少し小さくなった
でしょうか。婦人科検診について
知っても、不安がすっかりなくな
るわけではないかもしれません。
痛いかもしれない。
少し恥ずかしい。
時間もつくらなければならぬ。

それでも、今まで「よく分からないから」と遠ざけていた婦人科検診が「こういうものなんだ」と分かるだけで、次の一歩を少し踏み出しやすくなるかもしれません。婦人科検診を受けるかどうかを決めるのは、あなたです。

この特集が、その選択を考えるための材料になり、
「受けてみようかな」
と思える小さなきっかけになればうれしく思います。

知ることから始まった婦人科検診。
次は、受けてみる番かもしれません。

検診は義務ではなく権利です



(公財)群馬県健康づくり財団 常務理事 兼 技監
鹿沼 達哉 さん

Q1 症状がない人に検診がなぜ、必要なのでしょう？

がん検診は、自覚症状のないうちにがんを早期発見し、早期治療につなげ、命を守るための健康チェックです。前がん病変や早期がんが見つかったら、それは「幸運」ともいえます。わずかな負担で健康を取り戻せる可能性が高まるからです。特に子宮頸がんは、結婚や出産を迎える年代にも多い病気です。未来の自分の命や子宮を守るために、検診を受けてください。

Q2 検診を行う側として、大切にしていることを教えてください。

「二度と子宮頸がん検診なんて受けたくない」と思われ、では困ります。検診は継続して受けることが大切だからこそ、「また次回も受けよう」と思っていただけのような心を配っています。恥ずかしさや痛みに配慮し、二人一人の尊厳を大切にしながら、器具もそのかたに合った大きさを使い分けています。痛みが強いときは、我慢せず伝えてください。できるだけリラックスして受けていただければと思います。

Q3 受診をためらっている女性へ伝えたいことを

がんは他人事ではありません。前がん病変や早期がんが見つければ、その後の治療や生活への負担を小さくできる可能性があります。一方、進行がんの治療は本人だけでなく、家族や周囲にも大きな負担となります。自覚症状がないうちに見つけるのが検診です。検診は義務ではなく、自分の健康を守るための権利です。「未来の自分への投資」と考え、一歩を踏み出してください。検診は、今の自分とこれから自分をつなぐ、大切な時間です。

先生、婦人科検診をどう見ていますか？

ここまで、実際の検診の流れや、受診する前に気になりやすいことを見てください。では、実際に検診を行っている医師は、婦人科検診をどのように考えているのでしょうか。検診を行う側から見た婦人科検診とは……